

政策シート 政策名 09 都市公園・緑地の整備

予算費目名 01 公園事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿
(30年後)

◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱
(10年後)

◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・将来を見据えた適切な都市計画公園の整備を行う。
・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業として、県が整備する新野球場の早期実現に向けて、県と継続して協議を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑬気候変動	⑮陸上資源						
-----	-----	-------	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	593,288	572,938	522,375	513,864	406,479	403,655
決算	551,308	603,893	484,302	511,871	454,016	307,855
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	96,000	103,000	103,000	102,200	102,620	103,600
年間経費(決算+A+B)	647,308	706,893	587,302	614,071	556,636	411,455

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市民一人当たりの公園敷地面積	m ²	目標	8.67	8.7	8.72	8.75	8.78	8.8
		実績	8.25	8.3	8.34	8.39	8.44	8.5
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・将来を見据えた適切な都市計画公園の整備

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

・市民一人当たりの公園敷地面積については、目標値には至らなかったものの、既設公園の区域変更(拡大)による整備や中瀬南部土地区画整理事業に伴う西中瀬コミュニティ公園の開設により、公園敷地面積を拡大することができた。また、来年度の開設に向けて、佐鳴湖公園東岸小藪地区の整備等を進めた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	公園整備事業	○	○		325,916	339,251	10.9			1.2	
2	公園管理・活用事業	－	－		59,457	54,269	0.6			0.7	
3	公園事業運営経費	－	－		26,082	10,135	2.5			0.1	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16	市民一人あたり										
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					411,455	403,655	14.0			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 公園整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造するため、都市公園等の計画的な整備を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1950	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-1(1)ア	Ⅲ-2(2)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健						
	⑬気候変動		⑮陸上資源				
事業とゴールの 関連性		・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。 ・公園の防災機能の拡充と公園緑地による環境負荷の軽減を目指す。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	533,825	515,444	462,099	458,268	351,014	339,251
	決算	493,463	547,201	425,428	456,793	400,037	246,256
	国・県支出	94,131	135,486	118,098	123,638	108,464	45,124
	市債	143,600	20,300		151,800	149,000	5,000
	その他	201,000	163,000	113,024	164,092	137,945	179
	一般財源	54,732	228,415	194,306	17,263	4,628	195,953
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		70,160	77,160	78,140	77,980	78,680	79,660
人工	正規	9.6	10.6	10.7	10.7	10.8	10.9
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.2			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8	0.8	0.9	1.1	1.1	1.2
年間経費(決算+A+B)		563,623	624,361	503,568	534,773	478,717	325,916

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市民一人当たりの公園敷地面積(㎡)		目標	8.67	8.7	8.72	8.75	8.78	8.8
		実績	8.25	8.3	8.34	8.39	8.44	8.5
南エントランスゾーンと天守曲輪南側土堀 延長整備率(%)		目標	100	100	100	100	100	-
		実績	75	75	75	75	75	-
公園整備における照明のLED化率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100
浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況(樹 木伐採・遺構解説サイン)		目標	樹木伐採	樹木伐採・遺構解 説サインの設置	遺構解説サ インの設置	樹木伐採 遺構解説サインの 設置	樹木伐採	樹木伐採
		実績	樹木伐採	樹木伐採・遺構解 説サインの設置	富士見橋跡平面表 示と遺構解説サイ ン	樹木伐採 遺構解説サインの 設置	樹木伐採	樹木伐採
鹿谷地区の整備率(%)		目標	25	37	49	67	85	94
		実績	18	41	59	65	79	86
新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設 整備等に向けた進捗状況		目標	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議	-
		実績	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議	-

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	09	01	002161000	01	公園課	松野 英男	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

下記事業を実施することにより、市民が安全・安心して利用できる都市公園を提供する。

- ・国交付金事業として、遠州灘海浜公園(篠原地区)整備工事の基盤整備や名塚公園の用地取得、物件移転補償を行った。
- ・市単独事業として、舞阪乙女園公園のアーバンスポーツスペース、佐鳴湖公園東岸小藪地区、御馬ヶ池公用地の整備を行った。また、既存公園(雄踏総合公園、船越公園、安間川公園ほか6公園)のバリアフリー化整備工事や遠州灘海浜公園馬込川河口部の基本計画策定業務を行った。
- ・浜松城公園整備事業として、鹿谷地区の整備工事を行った。
- ・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業として、県が整備をする新野球場の早期実現に向け、県と協議を行った。
- ・みんなでつくる公園事業として、牛山公園の利活用推進を見据えた植物・鳥類等の生物調査や公民連携による万斛庄屋公園の花壇づくりを行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民一人あたりの公園敷地面積については、目標値には至らなかったものの、既設公園の区域変更(拡大)による整備や中瀬南部土地区画整理事業に伴う西中瀬コミュニティ公園の開設により、公園敷地面積を拡大することができた。
- ・既存公園のバリアフリー化の整備工事を計画通り進めている。
- ・新野球場について、県は基本計画を策定し、その後、事業認可(公園計画範囲の一部)を取得した。また、野球場の規模、構造の最適案や県・市・民間の役割分担等について検討する遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会が設置された。
- ・公園整備における照明のLED化率について、浜松城公園(鹿谷地区)等で全てLED照明として整備し、目標通りである。
- ・鹿谷地区の整備工事については、目標の整備率には届いていないものの概ね計画通りに進捗している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・整備予定公園の優先順位を示している都市計画公園整備プログラムについて、より効果的・効率的に公園整備を進めるために見直しを行い、第2期プログラムへ更新した。2025年度以降においても、引き続き多様な視点から更なる見直しを進めていく。
- ・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業において、遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会の設置に伴い、当初計画していた用地調査の実施を見送った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民ニーズの多様化や公園の整備環境等により、賑わいにつながっていない公園も一部存在することから、新たな魅力やにぎわいを創出する公園を目指した既存公園の再整備や付加機能の向上について検討を進める。
- ・まずは、佐鳴湖公園について、2025年度～2026年度の2年間で再整備基本計画を策定し、中長期的な課題の解決に向けた検討を行い、多くの人に利用される魅力ある公園を目指す。
- ・また、屋内型遊戯施設等を含めた公園施設の整備について、対象施設の整理、コンセプトの明確化と、民間企業へのサウンディング調査の実施による民間活力活用の可能性について検討を継続する。

事業シート

(事業名) 02 公園管理・活用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

借地公園において、土地所有者との良好な関係のもと借地契約を継続して、市民に親しまれる公園を運営する。
合わせて公園用地の借地解消を進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1998	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市								
事業とゴールの 関連性	・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、 花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	57,732	55,901	55,010	53,917	53,889	54,269
	決算	56,320	55,713	54,576	53,889	52,809	53,297
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	56,320	55,713	54,576	53,889	52,809	53,297
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,080	7,080	7,080	6,440	6,160	6,160
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(31h)	0.8	0.8	0.8			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.8	0.7	0.7
年間経費(決算+A+B)		63,400	62,793	61,656	60,329	58,969	59,457

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	09	01	002161000	02	公園課	松野 英男	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・開設している公園のうち、民有地を借地しているものが13公園(2024年度当初借地面積:161,343.26㎡)あるが、民有地については土地所有者(2024年度当初:64人)と借地契約を締結し、公園を適正に管理運営をした。市の方針に従い、売却の意向のある土地所有者と交渉し、33,296㎡(契約者2人)の借地解消を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民一人あたりの公園敷地面積については、目標値には至らなかったものの、既設公園の区域変更(拡大)による整備や中瀬南部土地区画整理事業に伴う西中瀬コミュニティ公園の開設により、公園敷地面積の拡大に取り組んだ。
- ・既存公園のバリアフリー化の整備工事を計画通り進めている。
- ・新野球場について、県は基本計画を策定し、その後、事業認可(公園計画範囲の一部)を取得した。また、野球場の規模、構造の最適案や県・市・民間の役割分担等について検討する遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会が設置された。
- ・公園整備における照明のLED化率について、浜松城公園(鹿谷地区)等で全てLED照明として整備し、目標通りである。
- ・鹿谷地区の整備工事については、目標の整備率には届いていないものの概ね計画通りに進捗している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・整備予定公園の優先順位を示している都市計画公園整備プログラムについて、より効果的・効率的に公園整備を進めるために見直しを行い、第2期プログラムへ更新した。2025年度以降においても、引き続き多様な視点から更なる見直しを進めていく。

・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業において、遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会の設置に伴い、当初計画していた用地調査の実施を見送った。

大項目 小項目 / 事業費 人工

借地解消を進めることにより借地面積が減少し、事業費は縮小する傾向であるが、借地が存在する限り、人工は必要となる。

事業シート

(事業名) 03 公園事業運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公園事業にかかる事務を円滑に行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市								
事業とゴールの 関連性	・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,731	1,593	5,266	1,679	1,576	10,135
	決算	1,525	979	4,298	1,189	1,170	8,302
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,525	979	4,298	1,189	1,170	8,302
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,760	18,760	17,780	17,780	17,780	17,780
人工	正規	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)		20,285	19,739	22,078	18,969	18,950	26,082

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	09	01	002161000	03	公園課	松野 英男	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民一人あたりの公園敷地面積については、目標値には至らなかったものの、既設公園の区域変更(拡大)による整備や中瀬南部土地区画整理事業に伴う西中瀬コミュニティ公園の開設により、公園敷地面積の拡大に取り組んだ。
- ・既存公園のバリアフリー化の整備工事を計画通り進めている。
- ・新野球場について、県は基本計画を策定し、その後、事業認可(公園計画範囲の一部)を取得した。また、野球場の規模、構造の最適案や県・市・民間の役割分担等について検討する遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会が設置された。
- ・公園整備における照明のLED化率について、浜松城公園(鹿谷地区)等で全てLED照明として整備し、目標通りである。
- ・鹿谷地区の整備工事については、目標の整備率には届いていないものの概ね計画通りに進捗している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・整備予定公園の優先順位を示している都市計画公園整備プログラムについて、より効果的・効率的に公園整備を進めるために見直しを行い、第2期プログラムへ更新した。2025年度以降においても、引き続き多様な視点から更なる見直しを進めていく。
- ・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業において、遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会の設置に伴い、当初計画していた用地調査の実施を見送った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2025年度は事業費及び人工が例年通りである。

政策シート

政策名
09 都市公園・緑地の整備

予算費目名
04 公園管理費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
03 安全・安心・快適

理想の姿
(30年後)

◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱
(10年後)

◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策
03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・公園緑地の適正な管理に努め、「安全・安心で快適な公園緑地空間」を創出し、市民に親しまれる公園緑地を提供する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑥水・衛生	⑪都市	⑬気候変動	⑮陸上資源					
-----	-------	-----	-------	-------	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,275,335	1,466,712	1,370,731	1,562,986	1,541,606	1,817,097
決算	1,188,887	1,330,199	1,441,864	1,643,675	1,512,178	1,586,357
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	77,800	76,300	77,700	78,400	79,200	79,200
年間経費(決算+A+B)	1,266,687	1,406,499	1,519,564	1,722,075	1,591,378	1,665,557

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
愛護会数 毎年2公園増加目標	公園	目標	410	384	386	388	390	392
		実績	382	386	390	376	375	373
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・公園緑地の適正な管理に努め、「安全・安心で快適な公園緑地空間」を創出し、市民に親しまれる公園緑地を提供した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

○公園愛護会育成事業:新規で7公園の登録があったが、9公園が解散してしまったため、愛護会数は2024年度目標(392公園)を下回ってしまった。今後も活動困難による解散愛護会の増加が懸念されるため、愛護会の魅力向上に向けた取り組みへの支援や会員の若返りへの誘導が必要である。
○公園施設維持管理事業:指定管理者や業務委託により、概ね安全で快適な公園の提供を図ることができた。
○公園緑地帯維持管理事業:公園等の清掃、除草や樹木剪定をはじめ、公園施設の修繕、設備保守等、限られた予算を有効に活用し、概ね市民に安全安心で快適な公園を提供することができている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	愛護会育成事業	—	—		17,890	16,263	0.2			0.6	
2	公園施設維持管理事業	—	—		354,607	348,151	1.3				
3	公園巡視機動業務委託事業	—	—		94,035	93,024	0.4			0.1	
4	公園緑地帯維持管理事業	—	—		826,610	810,508	3.1	0.6		0.7	
5	公園施設改良事業	○	○		258,847	458,520	1.5			0.2	
6	公園施設長寿命化事業	—	—		73,394	75,000	0.2				
7	公園管理デジタル運営経費	—	—		2,620	1,290	0.2				
8	公園管理運営経費	—	—		37,554	14,341	3.1	0.4		0.4	
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,665,557	1,817,097	10.0	1.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 愛護会育成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の手による安全・安心で快適な公園緑地づくりの一助となるように公園愛護会を育成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1966	-	一般会計	自治事務(その他)	公園愛護会報償金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健							
事業とゴールの 関連性	・公園愛護会活動を通じ、さまざまな年齢層の人々のコミュニティの場とし、精神的な健康維持を促進する。 ・都市の基本機能である公園の継続的な管理に参画することで、地域コミュニティの面から居住環境を展開する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	16,776	16,482	16,482	16,427	16,217	16,263
	決算	15,914	15,799	15,938	15,296	14,850	14,810
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,914	15,799	15,938	15,296	14,850	14,810
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,200	1,820	2,940	3,080	3,080	3,080
人工	正規	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)	0.5					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.8	0.6	0.6	0.6
年間経費(決算+A+B)		19,114	17,619	18,878	18,376	17,930	17,890

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
愛護会数 毎年2公園増加目標(公園)		目標	410	384	386	388	390	392
		実績	382	386	390	376	375	373
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・主に除草・清掃業務等の奉仕活動を行うことを目的に地域住民等で組織される愛護会に対し、芝刈り機の貸し出しなどの支援をするとともに報償金を支払った。
- ・愛護会の無い公園の地域に、愛護会制度の説明を積極的に実施し、愛護会の組織化を要請した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新たに7公園で結成されたが、高齢化などの理由により活動が困難になり9公園で解散し、年度毎に2公園増とする愛護会結成の目標を下回ることとなった。
- ・既存の愛護会や新たに結成された愛護会では、市民の共有スペースとしての公園や都市計画を形成する緑地への理解や関心が高まるとともに、地域住民の連携が生まれ、市政運営の基本方針である「共生共助でつくる豊かな地域社会の形成」の促進に貢献した。また、草刈り、清掃等維持管理費の節減が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・少子高齢化に伴う担い手の減少、愛護会の解散が加速化する懸念がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地域住民等で組織される愛護会が7公園増加し、市民等との連携による公園管理を進めた。
- ・公園愛護会会員の高齢化などの理由により9公園で愛護会が解散した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・愛護会の解散により、前年度に愛護会で実施していた除草、清掃作業を業務委託として実施する必要があるため、除草に関する事業費の増加が懸念される。
- ・公園愛護会の継続が図られるよう、愛護会の魅力向上に向けた取り組みに対し支援するとともに、公園利用団体等に働きかけ公園の利用と合わせた愛護会の設立について働きかける。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	09	04	002163000	02	公園管理事務所	植田 一	2025.7.1

事業シート

(事業名) 02 公園施設維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

運動施設等を有する公園を対象として、民間事業者への委託(指定管理者制度を含む)により、安全で快適な空間の確保、健康福祉の増進、生活文化の向上を目指すとともに、市民共有の憩いの場として提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	地方自治法(第244条の2第3項、浜松市都市公園条例)

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健	⑥水・衛生
	⑬気候変動	⑮陸上資源
事業とゴールの関連性		
・公園の活用によりさまざまな年齢層の人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体 の健康維持を促進する。 ・都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 ・公園緑地を継続的に維持することで、気候関連災害や自然災害への緩衝帯、一時避難 地としての役割を保持する。 ・公園緑地の継続的な管理により、緑地減少の阻止や劣化した緑地の回復を図る。		

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	335,964	374,643	370,872	354,862	351,582	348,151
	決算	334,506	370,177	367,388	351,715	348,391	345,507
	国・県支出		15,141				
	市債						
	その他	16,240	14,729	17,966	26,202	32,636	14,926
	一般財源	318,266	340,307	349,422	325,513	315,755	330,581
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	9,100	9,100	8,400	9,100	9,100
人工	正規	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		342,906	379,277	376,488	360,115	357,491	354,607

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜松城公園ほか17公園において、指定管理者制度による公園管理を行った。
- ・安間川公園ほか8公園、3緑地において、指定管理者の更新を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松城公園ほか17公園において、指定管理者による適切な管理運営が行われた。
- ・指定管理者の更新において、適切な管理運営が出来るよう調整を図り決定することができた。
- ・民間事業者への委託(指定管理者制度を含む)により、民間活力による安全で快適な公園の提供、健康福祉の増進や体育及び生活文化の向上を図るとともに、市民共有の憩いの場の提供ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・今後も、民間活力の活用により、公園の維持、管理を進めていく必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・施設の老朽化に伴う修繕、公園利用のための課題、周辺住民からの要望等を把握するため、指定管理者との連絡調整を密に行うよう心がけた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・指定管理者の提案による自主事業の推進など、民間活力のさらなる活用を進め、魅力ある公園づくりを行う。
- ・市民に身近な公園についても、指定管理者制度の活用などについて、有効性の検討を行う。
- ・1つの公園でも、指定管理者による管理区域・区分と市直営の管理区域・区分が混在している公園があるため、全体を指定管理者の管理区域・区分とし、管理運営の効率化に繋げ、利用者要望への速やかな対応等、利便性の向上に繋げる。
- ・所管課を見直し、市民に分かりやすくするとともに、職員の人員配置も見直すことで事務事業の効率化を図る。

事業シート

(事業名) 03 公園巡視機動業務委託事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

定期的な巡視業務により、公園内の不具合箇所の早期発見に努めるとともに、機動業務を通じて早期対策を図り、安全安心で快適な公園を市民に提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2002	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例、 浜松市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健	⑥水・衛生
⑬気候変動	⑮陸上資源	
事業とゴールの 関連性		
・公園の活用により、さまざまな年齢層の人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体 の健康維持を促進する。 ・都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。		

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	80,511	83,941	83,941	86,208	89,140	93,024
	決算	80,274	83,439	83,900	86,075	88,998	90,955
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	80,274	83,439	83,900	86,075	88,998	90,955
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,360	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)		83,634	86,519	86,980	89,155	92,078	94,035

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

市内全域に広がる、指定管理者以外の公園746箇所において、次の業務を委託した。

(1)公園巡視業務

- ・市域を8ブロックに分け、原則として月3回以上(トイレ未設置公園、緑地等においては月2回以上)の巡視・点検を実施。
- ・合わせて、軽微な作業(除草や水道栓の交換等)、遊具の日常点検、市民要望箇所の現地確認等を公園機動業務と連携して実施。

(2)公園機動業務

- ・公園施設の造園・土木・建築・給排水等の業務のうち、緊急性が高く比較的簡易な作業について、公園巡視業務と連携して実施。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・巡視業務により公園施設の破損、危険箇所及び問題箇所等を早期に発見し、機動業務により迅速に樹木伐採・剪定、ベンチや遊具等の公園施設の簡易補修を行うことにより、安全安心で快適な公園を提供することが継続してできた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・公園利用者の増加や多様なニーズにより迅速な対応が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・巡視点検状況の確認を明確にするため、毎月の報告内容を細分化し、適正な管理状況を把握した。
- ・業務委託の設計労務単価引き上げにより、事業費が拡大した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 業務改善 / 事業費 現状 人工 現状

- ・都市計画公園や開発公園の新設等による管理公園の増加、労務単価・資機材単価の上昇により事業費の拡大が必要となる。
- ・公園数の増加に伴い、1公園当りの巡視業務に費やせる時間が制約されている中で、施設の老朽化や樹木の老木化、多様化する利用者ニーズに対応するための不具合箇所の早期発見の重要性が高まっている等、より効率的な巡視業務の実施が必要となる。
- ・事業の主な対象となっている市民に身近な公園についても、指定管理者制度の活用などについて、有効性の検討を行う。

事業シート

(事業名) 04 公園緑地帯維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市内全域に広がる指定管理以外の公園を対象に、除草や清掃・樹木剪定をはじめ、遊具や照明灯などの公園施設を適正に維持管理することにより、市民に安全安心で快適な公園を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法、浜松市都市公園条例、浜松市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健	⑥水・衛生
⑪都市	⑬気候変動	⑮陸上資源
事業とゴールの関連性	・公園の活用によりさまざまな年齢層の人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体 の健康維持を促進する。 ・都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 ・公園緑地を継続的に維持することで、気候関連災害や自然災害への緩衝帯、一時避難 地としての役割を保持する。 ・公園緑地の継続的な維持により、緑地減少の阻止や劣化した緑地の回復を図る。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	589,478	627,565	629,889	691,955	749,019	810,508
	決算	575,721	617,035	626,685	710,990	745,012	800,790
	国・県支出						
	市債						
	その他	7,525	8,865	7,961	7,334	7,711	10,088
	一般財源	568,196	608,170	618,724	703,656	737,301	790,702
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		27,860	28,000	28,140	26,740	25,820	25,820
人工	正規	3.5	3.6	3.5	3.3	3.1	3.1
	再任用(31h)					0.6	0.6
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.2	1.0	1.3	1.3	0.7	0.7
年間経費(決算+A+B)		603,581	645,035	654,825	737,730	770,832	826,610

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

市内全域に広がる、指定管理者以外の公園738箇所において、次の業務を行った。

- (1) 公園内の清掃や樹木剪定等の維持管理
- (2) 園路の補修やトイレ・遊具等の修繕
- (3) 時計や照明設備等の保守点検、修繕
- (4) トイレ清掃や受水槽等保守点検等
- (5) 電気料、水道、下水道料等の支払い

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・都市公園等の除草や清掃、樹木剪定をはじめ、遊具や照明灯などの公園施設の修繕、設備保守などについて、限られた予算を有効に活用し、概ね市民に安全安心で快適な公園を提供することができた。
- ・突発的な事故や要望等による業務が多いため、年間の計画的な予算配分に苦慮した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・公園利用者の増加や多様なニーズにより迅速な対応が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・突発的な事故等や急な要望に対し、適確な判断により処理できている。
- ・突発的な事故等や急な要望のため、年間の計画的な予算配分に苦慮した。
- ・樹木の成長、施設の老朽化により事業費が増加した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的な維持管理ができるよう、人員配置や予算配分等しくみの見直しを検討する。
- ・事業の主な対象となっている市民に身近な公園についても、指定管理者制度の活用などについて、有効性の検討を行う。

事業シート

(事業名) 05 公園施設改良事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

老朽化により市民ニーズに合わなくなったり、安全性に支障が生じたりしている公園施設(トイレ・遊具・園路など)を対象に、施設改良を行い、より市民が利用しやすい公園の提供に努める。また、都市公園の照明灯のLED化による省エネルギーの推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法、浜松市都市公園条例、浜松市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-1(1)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健							
事業とゴールの 関連性		・公園の活用によりさまざまな年齢層の人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体 の健康維持を促進する。 ・都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	170,058	219,006	256,135	290,041	243,236	458,520
	決算	102,344	192,932	242,470	357,664	223,985	247,787
	国・県支出		14,076				
	市債						10,000
	その他				154,881	145,000	237,359
	一般財源	102,344	178,856	242,470	202,783	78,985	428
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,680	9,660	9,660	11,060	11,060	11,060
人工	正規	1.2	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
年間経費(決算+A+B)		111,024	202,592	252,130	368,724	235,045	258,847

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
指定管理14公園の照明灯LED化率(%)		目標	35	55	75	100	100	100
		実績	41	45	63	87	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

安全安心で快適な公園施設を利用者に提供するため、運動施設の改修、遊具の更新、園路の整備等を計画的に進めるとともに、市民要望や、安全性に支障が生じている施設等の早期改修を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・指定管理公園の照明灯のLED化を進めた。2023年度に予定基数の実施が完了した。
- ・指定管理以外の照明灯についてもLED化に着手した。
- ・グラウンドや運動施設の改修をはじめ、遊具の修繕や園路の整備等について、限られた予算を有効活用し、概ね安全安心で快適な公園利用を提供することができた。
- ・弥生緑地の法面補強工事の完了により、土砂災害の防止に寄与した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・公園利用者の増加や多様なニーズにより迅速な対応が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・緊急性・危険性が高いものは早期に対応することができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・発注時期を調整して、工事集中期間を避けた発注を行う。
- ・改修、改良が必要な公園施設の洗い出しや優先順位付け等を行い、計画的に執行する。

事業シート

(事業名) 06 公園施設長寿命化事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市公園における公園施設について、今後進行する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の削減と平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修費等の予防保全的な管理の下で、既存ストックの長寿命化対策及び計画的な改築・更新を図ることにより、市民に安全安心で快適な公園を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2009	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健								
事業とゴールの 関連性		・公園の活用によりさまざまな年齢層の人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体 の健康維持を促進する。 ・都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	65,116	131,782		105,000	75,000	75,000
	決算	65,116	38,782	93,000	105,000	75,000	71,994
	国・県支出	32,558	19,391	46,500	52,500	37,500	35,997
	市債					6,200	32,300
	その他				37,000	29,800	3,000
	一般財源	32,558	19,391	46,500	15,500	1,500	697
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		66,516	40,182	94,400	106,400	76,400	73,394

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・大蒲公園ほか25公園で37基の遊具の更新を行った。
- ・このうち、12公園22基については、2024年6月に発生したスプリング遊具におけるスプリング破断事故を受けて、ロッキング遊具への更新を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・遊具の更新により、施設の長寿命化を図ることが出来た。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・公園利用者の増加や多様なニーズにより迅速な対応が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
長寿命化計画を前倒ししている部分もあるが、概ね計画的な実施ができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
・都市公園の遊戯施設や一般施設の長寿命化計画により、計画的な維持管理・更新を行う。

事業シート

(事業名) 07 公園管理デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

指定管理者や巡視業務受託者との通常の維持管理に関する協議や、緊急時対応の効率化を図るため、非対面式相談対応のタブレットを活用する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			132	4,711	2,167	1,290
	決算			60	4,267	1,946	1,220
	国・県支出					556	
	市債						
	その他						
	一般財源			60	4,267	1,390	1,220
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	1,400	1,400	1,400
人工	正規			0.1	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)				760	5,667	3,346	2,620

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・タブレット端末の活用により、事業の効率化を図った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・タブレット端末を遠隔の現場確認やWEB会議に活用した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
市民サービスの向上、業務の効率化等のために、デジタル化の推進が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・タブレット端末の活用により、現場との緊急時対応の効率化を図ることができた。
・タブレット端末を用いたWEB会議への参加により、移動時間の短縮など事務事業の効率化を図ることができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・指定管理者や巡視業務受託者との通常の維持管理に関する協議の活用推進を図る。

事業シート

(事業名) 08 公園管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公園管理事務所を運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	17,432	13,293	13,280	13,782	15,245	14,341
	決算	15,012	12,035	12,423	12,668	13,996	13,294
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,012	12,035	12,423	12,668	13,996	13,294
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		24,900	23,240	22,680	23,240	24,260	24,260
人工	正規	3.1	2.8	3.0	3.0	3.1	3.1
	再任用(31h)	0.5				0.4	0.4
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	1.3	0.6	0.8	0.4	0.4
年間経費(決算+A+B)		39,912	35,275	35,103	35,908	38,256	37,554

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

公園管理事務所の運営経費として、主に以下の内容を執行した。

(1)公園管理事務所の維持管理(光熱水費、車両管理、警備、清掃、設備保守等)

(2)公園管理事務所窓口業務委託

- ・予約システム(まつぼっくり)
- ・利用者登録事務、予約受付・利用状況確認、利用申込書の受付、使用料の納付・領収書の発行
- ・公園管理事務所
- ・接客案内、電話対応、庶務事務の補助

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・公園や緑地の維持管理を行うための事務費、事務所経費を執行し、効率的な運営を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・管理事務所の運営について、引き続き新しい生活様式に基づいた運営を実施する必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・公園管理事務所の運営経費として、効率的に運営することができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・公園管理事務所の運営経費として、効率的な運営を行う。